

# 大阪現地実践事例

# 大阪府 スマイルサポーター (地域貢献支援員) の保育園での活動

五風会保育園 土金 新治

# 1 大阪府の取組み 保育園の地域貢献支援員(スマイルサポーター)

# 1-1 スマイルサポーターとは

「悩んだ時は、保育園が力になります」

大阪府社会福祉協議会・保育部会(会員数 588ケ園)では現在、各民間保育園の5年以上の 実務経験がある保育士で、養成研修を修了した「地域貢献支援員(スマイルサポーター)」が 子育て相談に加え、子育て相談以外の介護や病気、DVなどの様々な悩みや問題を抱えた方々 への相談活動や支援、行政の担当窓口や専門機関への橋渡しなど問題解決に向けた取組みを行 っています。平成25年現在時大阪府内1,168名のスマイルサポーターが各保育園に在籍し、年 間48,981件の相談を受け付けています(平成24年度実績)。

#### 1-2 でんわ育児相談から地域貢献支援員の養成まで

保育部会は、昭和57年地域社会が期待する福祉活動を展開するうえで、女性の育児や就労に関する意識を把握することが重要であると考え、「1万人の女性の意識調査」を実施。アンケート結果より、もっと気楽に子育てについての相談できる窓口の充実を求めていることが分かってきました。そこで昭和59年から「でんわ育児相談」事業をスタート。専門の研修を受けた女性園長や子育て経験のある保育士16名を保育部会事務局に交代で派遣し、電話での相談を実施するという活動を行ってきました。そして平成3年、育児相談でのノウハウを活かし、相談窓口をもっと身近なものにするために保育園を受け皿とする「育児相談員制度」を創設。さまざまな相談に対応できるスタッフを各園に数名程度配置していこうと考えました。その後活動を続けていく中、平成19年に相談員対象に行ったアンケート等から、相談業務を行う中で、保育・子育て以外の問題が複雑な要因となっているケースが多いことが見えてきました。たとえば育児放棄の問題を詳しく調査していくと、経済的理由、家庭内暴力、親自身に障がいや病気がある、家族に要介護者がいる…などが背景にあります。保育園だけでこれらの問題をすべて解決することは不可能です。相談窓口として機能することにとどまらず、広く地域社会に目を向けて、各種公的サービスや社会資源との連携を図れる人材を養成していくことで、地域のセーフティネットの一環を担うことができるのではないかと考えました。

## 1-3 活動のポイントや工夫

保育園は、施設数も多く、開所時間も長い。地域には卒園児の保護者等顔なじみの人々が日

頃たくさん集ってきます。住民が立ち寄りやすい身近な存在であるこうした保育所の特徴を生かし、地域に開かれた相談窓口となっています。また交流事業により、学校、老人・障がい施設と、園児の健康管理、虐待ネットワーク活動等により専門機関、行政とのつながりも多い特徴を生かし、きめ細やかな子育て支援を行うことが可能です。

## 1-4 充実した養成研修

養成研修は、支援活動をより効果的に実施するため、保育士として通常求められる役割である育児相談に必要な知識を学んだ上に、地域の社会資源の理解や老人施設との連携等、地域の福祉全般に守備範囲を広げることを目的としています。研修講師には第一線で活躍する方々を招き、相談援助のポイントやロールプレイ、グループワークを多用し、年間15日間の講義を受講することによって資格を得ることができます。

#### 1-5 スキルアップのための資格

平成21年度より大阪府知事認定資格となり、スマイルサポーターが在籍し、園長研修を受講した園の保育所の入り口には「大阪府知事認定スマイルサポーターがいる保育園です」と書かれた看板を掲げることができます。大阪府内の民間保育所全体で取り組むことで、住民に対する事業の浸透を図るとともに、相談に対する信頼を得ることにつながっています。

#### 1-6 課題と展望

地域貢献事業は、新制度の中でも保育園が、福祉問題の予防・発見におけるセーフティネットの一翼を担い、身近で頼れる存在と住民に認められること、社会に対し高い公益性を証明する活動になりうる事業です。

子育て全般を市場任せ、親任せにせず、身近にある保育園が蓄積してきた子育でに関する/ウハウを提供し、積極的に様々な社会資源とネットワークを組み、関係者を巻き込みながら、制度のはざまにある福祉ニーズに対応していく姿勢こそ、本来地元に密着した活動をしてきた社会福祉法人の得意とするところです。今から特別に何かをやるのではなく、日常新生児からお年寄りまで幅広い年代が身近で訪れやすい場所としての利点を生かして、地域の人が集まる安全・安心の拠点になれるかどうかが、保育園に求められています。それには支援員の継続的な専門知識の向上を図り、地域に信頼される人材の養成がなにより重要であり、資格取得後のフォローアップ研修を充実させていくことが今後の課題です。

#### スマイルサポーター 相談事例 1:〈B国人母子家庭における就労支援が必要な事例〉

【世帯状況】…母親・1歳児男児の母子家庭。

母親はB国人で父親からのDVのため、市一時保護所より市内母子ホームへ入居。母親は日本語の日常会話はある程度しか理解できない。

【紹介経路】…母子ホーム 母子指導員(母子生活支援施設)

## 【相談内容】

母親の体調がすぐれないため、子の保育園の利用につき、母子ホームより問い合わせがあったため、スマイルサポーターが園庭開放を利用できることを教え、案内しました。

#### 【支援経過】

生活用品(冷蔵庫、洗濯機等、当面の金銭)の工面については、母子指導員から府社会貢献 支援員へ連絡、入居翌日には母子ホームへ配送されました。また生活保護の手続きについては、 園庭開放にて、母親がかなり精神的に不安定な状態に見られ、また手続き上日本語のサポート が必要と判断されたため母子ホームへ問い合わせたところ、市児童育成課でも通訳ボランティ アを探しているとのことで、スマイルサポーターが知人(ヤクルト販売員 B国人)を紹介し、 通訳ボランティアとして母子ホームへ週1回の訪問、手続き同行を依頼しました。

1か月経過後、市生活保護課ケースワーカーより、市人権推進課、市市民課、市法律無料相談日等を母へ紹介、手続きを進めました。スマイルサポーターは、通訳ボランティアとの日程調整を行いました。また母がさらに体調を崩しがちとなり、子の保育園入園をすすめるが、母親が保育料が高いとのことで申込拒否。園庭開放利用を続ける。スマイルサポーターより、保育課へ連絡、2歳児クラスの空き状況を確認し、母、子とともに市保育課へ同行、保育料その他の説明を受け、入所申込を行いました。あわせて母子ホーム施設長より、市保健センター保健師へ訪問依頼。母子手帳等記録が全て無いため、A市保健センターへ引継ぎ依頼。スマイルサポーターは母親に市内近隣小児科、歯科、内科を紹介、初回は母子ホーム施設長、通訳ボランティアが同行しました。

#### 【支援前後の変化】

母親は当初かなり精神的に不安定な部分も見られたが、生活リズムが整ってくるにつれ、徐々に落ち着きを取り戻してきました。子どもについては、当初無表情が気になったが、週2回程度の園庭開放利用で保育園児と遊ぶ姿も見られるようになりました。

#### 【今後の対応】

母親の離婚手続き、就労支援につき、日本語習得が必要です。しかし子どもを保育園に預けて日本語サロンなど勉強に専念するには抵抗があり、今後もボランティアの助けが必要です。 引き続き、市児童育成課や母子ホームと連携しながら、家庭の様子などを注意深く見守っていく必要があります。

# スマイルサポーター 相談事例2:〈子育て支援及びネットワークによる見守りが必要な事例〉

【世帯状況】…父親・母親・1歳児男児の家庭。

【紹介経路】…保健センター・保健師

# 【相談内容】

市保健センター保健師より、1歳半健診にて1年の発達の遅れがあると診断された児童について、園庭開放を案内したいが、利用の可否について、問い合わせが入りました。(当該児童については入園待機児童)

#### 【支援経過】

自園訪問してもらうよう保健師を通じて依頼。一度目は来られなかったが、再度、保健師を通じて依頼をしたところ、来訪。対象の家庭の母親は、就職活動中にて育児に関わる時間に限りがある様子である。週1回開催されている保健センター主催の「親子教室」の利用は来たり来なかったりの連続だったとのこと。対象児について、言語理解の遅れがあり表現はジェスチャーが多い。友達との関わりは保育士の仲立ちや支えが必要であった。母親に対しては、対象の子どもの発達の遅れについて支援が必要であることから保健センター、市の保育担当課と連携を取り、安定した環境での毎日の保育支援が必要であることを伝え、入園を勧める。当園では、1歳児の待機者が多かったため、スマイルサポーターが近隣他園の一時預かり事業を紹介。しかし、数日後再度連絡があり、他園も受入枠がなく、当園のケース会議にて、特別に週1回から受入することと決定した。一時保育を利用し始めたころは、連絡がなく休むこともあり、スマイルサポーターが連絡すると、朝起きれないので行けないと母親から相談され、昼前になってもいいからと利用をすすめたところ、なんとか継続して来るようになった。

ところが利用も継続し、慣れてきた頃、市家庭児童相談室より、近隣の住民より当該家庭につき虐待通報があったため、安否確認があった。特に園生活上、身体の状態、母親に送迎時気になる様子等見られなかったと報告した。

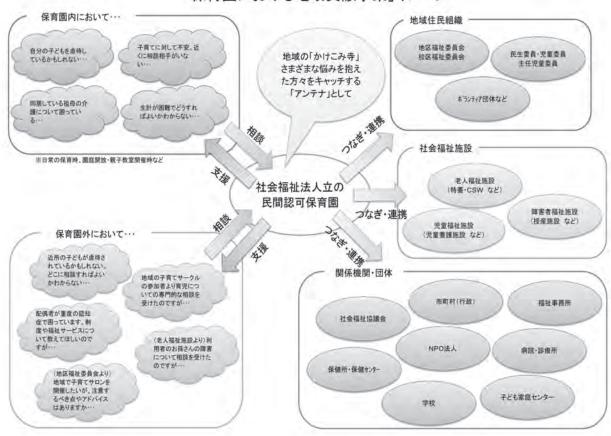
#### 【支援前後の変化】

母親は以前職場のトラブルで退職しており、母親自身が夜も眠れない等精神的に不安定なことが多く、生活リズムが乱れがちになることとともに、子どもの言葉の遅れが気にかかり、子育てにしんどさを感じている。丁寧に関わることで、母親がしんどいことも言ってくれるようになってきました。

#### 【今後の対応】

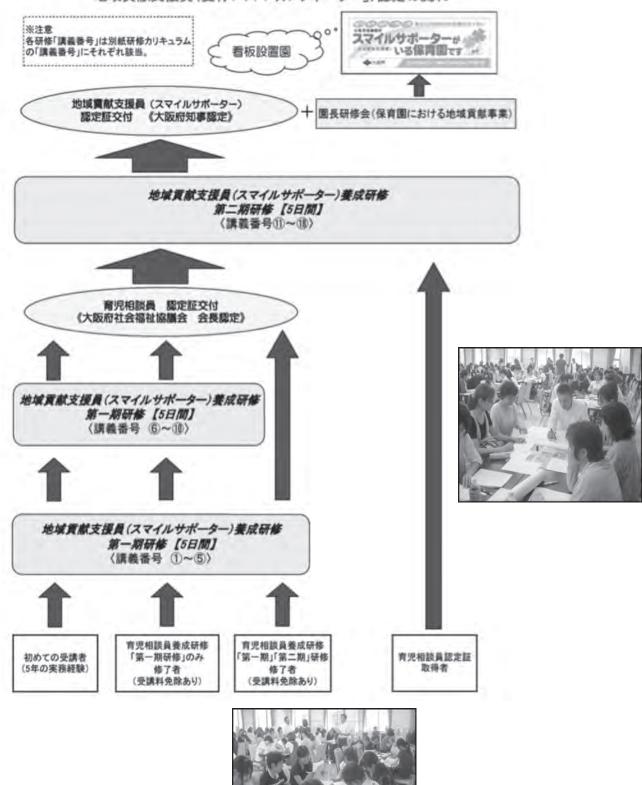
冬の寒い時期になると、一時保育、園庭開放利用が滞ったりしたため、市保健センター保健 師、市児童育成課家庭児童相談員へ連絡し、健診案内時等定期的な家庭訪問を依頼し、継続的 に支援していく必要があります。

# 「保育園における地域貢献事業」イメージ





# 地域貢献支援員(愛称:「スマイルサポーター」)認定の流れ

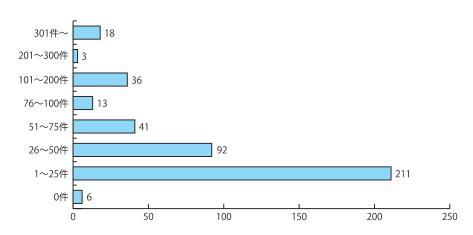


# Q3 平成25年度上半期 (4~9月) 何件の相談を受けましたか?

合計 30,188件

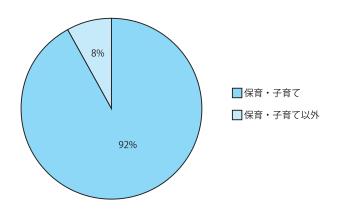
(内訳) 0件	6園	76~100件	13園
1~25件	211園	101~200件	36園
26~50件	92園	201~300件	3園
51~75件	41園	301件~	18園

# 相談件数



# ※上記の相談件数の内訳(保育・子育てor保育・子育て以外)

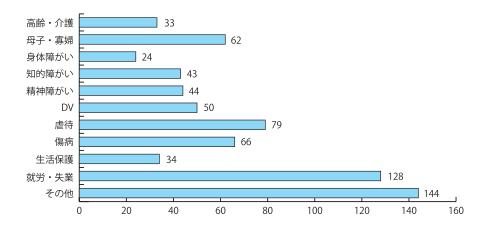
# 相談内容の内訳



# Q3 平成25年度上半期 (4~9月) 何件の相談を受けましたか?

①高齢・介護	33件	⑦虐待	79件
②母子・寡婦	62件	⑧傷病	66件
③身体障がい	24件	⑨生活保護	34件
④知的障がい	43件	⑩就労・失業	128件
⑤精神障がい	44件	⑪その他	144件
⑥DV	50件		

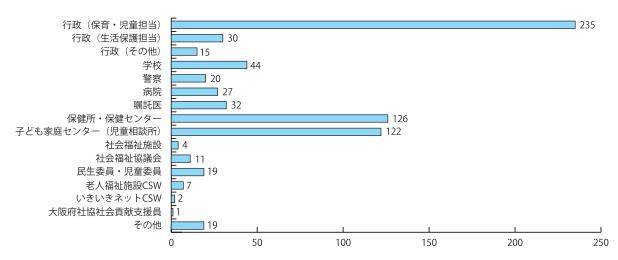
保育・子育て以外の相談内容



# Q8 問題解決にあたり、どのような関係機関と連携をとりましたか?

①行政(保育·児童担当)	235件	⑨子ども家庭センター(児童相談所)	122件
②行政(生活保護担当)	30件	⑩社会福祉施設	4件
③行政 (その他)	15件	⑪社会福祉協議会	11件
④学校	44件	⑫民生委員・児童委員	19件
⑤警察	20件	⑬老人福祉施設CSW	7件
⑥病院	27件	⑭いきいきネットCSW	2件
⑦嘱託医	32件	⑤大阪府社協社会貢献支援員	1件
⑧保健所・保健センター	126件	⑥その他	19件

# 連携をとった関係機関



平成25年度 地域貢献支援員 (スマイルサポーター) 養成研修 カリキュラム

## 2 実践事例1

## 民間保育園におけるマイ保育園事業 乳児家庭全戸訪問事業の参画による地域貢献

# 堺市

古代には仁徳天皇陵古墳をはじめとする百舌鳥古墳群が築造され、中世には海外交易の拠点として「自由・自治都市」を形成し、日本の経済、文化の中心地として繁栄してきました。 戦後、臨海コンビナートと泉北ニュータウンの造成により、発展、84万人の人口を有する政 令指定都市・堺は、大阪府内で人口・面積第2の都市として、関西の文化・経済を牽引して います。

保育所数110 (+6) 定員13,577人 (+705) 利用数15,103人 (+565) 待機児童245人 (▼ 645) (カッコ内は全て前年比。平成25年10月1日現在 大阪府統計より)

平成24年度定員ベースで761人、25年度410人受入拡大を図っており、かなりのハイペースで 待機児童解消計画を進めています。





#### 施設概要

施設名 植塚台保育園

所在地 大阪府堺市南区植塚台3-5 園長 永野 治男

定 員 130名

# 歴史及び概要

平成23年4月に増改築工事竣工。太陽光パネル20KW設置。園舎は四季折々の木々を植樹し、

**園専用の菜園、ビニールハウス、ログハウスがあるなど自然環境作りに力を注いでいる。** 

新興住宅地の開発がすすむ昭和49年、保育園を開園。平成4年、在宅子育て支援事業(わんぱくプラザ事業)を府域第一号として事業開始。地域に根差した保育園の活動として、園庭開放を呼びかけ、全国展開を図る。

#### はじめに

近年、保育園の専門性の活用と利用者支援の流れのなか、マイ保育園制度が全国的に普及してきています。大阪府堺市でも平成23年より保育園を地域に開かれた「子育てキーステーション」として位置づけ、マイ保育園事業を含む以下のような子育で拠点推進事業を民間保育園が中心となって進めています。

## ①一時預かり事業

市補助のもと、利用料金を定額化・低料金化し、在宅子育て家庭の利用を促進し、育児負担・ 不安の軽減を図っている。

#### ②乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)

国の施策である乳児家庭全戸訪問事業を民間保育園が市より受託し保育士が訪問する。子育 て家庭にアウトリーチによるきめ細かい支援を実施するとともに、保育士による専門性が高い 相談が可能になっている。

#### ③さかいマイ保育園事業

母子健康手帳交付時に身近な保育園を「マイ保育園」として登録し、「かかりつけ保育園」として位置づける。登録した人は、マイ保育園において、出産前には乳幼児の保育の見学や体験を受けられ、出産後は園から園庭開放の案内や育児相談無料で一時預かり保育を体験することができる。(参考 登録者 堺市全体 270名 南区 100名 スタートから 2 か月の時点で)

#### ④3人乗り自転車レンタル事業

市内在住で1~5歳の幼児を2人以上養育している家庭に対し、3人乗り自転車を一年間無料で貸与する事業。自転車については市補助により各施設が購入し、申し込みから返却まで各保育園が行っています。

また堺市では、①一時預かり事業②乳児家庭全戸訪問事業③さかいマイ保育園事業の3事業 全てを行っている保育園に対し、地域子育て支援優良事業所として独自に「Pサポーター」認 定証の交付を行っています。ここでは認定園である槇塚台保育園での乳児家庭全戸訪問事業の 概要と、育児相談にて常に上位にある「排泄について」の取組みを在宅子育て家庭に対して活 かした事例として紹介いたします。

#### 2-1 乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)

堺市では生後2か月から4か月頃までの全てのこどもを対象に「乳児家庭全戸訪問(こんにちは赤ちゃん訪問)」を行っています。訪問に従事するのは市の保健師、もしくは一定の研修を修了した民間保育園の保育士です。多胎児や低出生体重児、保健師による新生児訪問を希望する以外の子どもたちは地域の保育士が家庭を訪問し、園庭開放や育児相談といった子育でに関する情報を提供します。訪問に従事する保育士の中には前述のスマイルサポーターの資格を持つ者も多く、育児の悩みや相談に様々な要因がかかわっている場合も関係機関へのつなぎなどがスムーズに行われます。また、訪問を受けた保護者の方が既知の保育士がいることにより園庭開放等の行事へも参加しやすく、継続した子育で支援が行われています。

## 2-2 参画した背景

かねてより地域の校区福祉委員会などで民生・児童委員の方から、「保育士さんは子育て世代により近い年齢の人が多く、育児相談に関する専門知識も豊富で、出産後まもないお母さんにとって安心して相談できるのではないか」との意見を頂いていました。保育園は在宅で子育てをしている方々が、家の近くで気軽に訪ねることができ、訪問者(保育士)が在籍していることで、出産後も安心して相談でき、より長期に渡って継続的に支援できる施設として、専門性を生かせるのではないかと、民間保育園連盟として市の事業を受託するに至りました。

#### 2-3 利用者の声

- ●外に出れるようになったら保育園に遊びに来てくれたらいいよと言ってもらえて安心できた。
- ●まわりに同年齢の子どももいないし、相談する人もいないので心強い。
- ●転居してきたばかりで子育て相談の情報がほしかった。
- ●訪問者(保育士)がいる保育園に誘ってもらえたので今後も安心して相談できそう。
- ●下の子が生まれるにあたり、上の子が遊べる場所や相談する所が欲しかった。

#### 2-4 訪問員の声

- ●継続して育児相談が必要なケースでも、訪問後連絡がとぎれる場合があると聞いていたが、 園の保育士が訪問しているためか、園庭開放、一時保育の案内をすんなりと受け入れてくれ る。
- ●母親同士の交流や子との関わり方、遊び方についての質問が多く、園庭開放、母親サークルの紹介を行った。
- ●母親自身(自立神経失調症など)への支援が必要なケースが散見された。

#### 2-5 課題と展望

国の要綱によれば乳児家庭全戸訪問員の従事者は、保健師、助産師、看護師、母子保健推進員、保育士、民生・児童委員、栄養士、子育て経験者、臨床心理士、母親サークル、自治体主催研修修了者等です。堺市では、保育士が市から委託されて訪問していますが、訪問する保育士は、実際に産後から就学まで利用できる施設の職員なので、地域において継続して相談できる場所を提供できるところが利点であると思われます。

今後の課題としては、養育支援が必要な家庭への対応のために、母子保健機関・医療機関との連携強化があげられます。また行政への報告書の蓄積とは別に現在フォローアップをかねて行われている事例検討会や情報交換等で担当者自身が事業を振り返る機会を増やしていく必要があります。これらは園長だけでなく、現場の保育士が、事業を通して園外へ出ていくことの重要性を再認識することでもあり、地域の顔になることが、地域に根ざす保育園に求められる利用者の安心、住民からの信頼を深めるのだと思います。

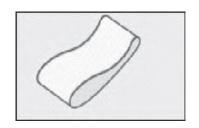
#### 2-6 布おむつのすすめ

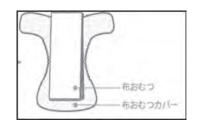
園では、「布おむつのススメ」と題して、保育での布おむつ使用を特色としています。園児個別に『布オムツのススメ、チャレンジセット』(布おむつ・カバー・トレーニングパンツ)を用意しています。保育園で使用したおむつは、園で汚物を洗い流し、除菌及び脱水して保護者に返却するため、家庭での洗濯の手間を省く協力も行っています。また『わんぱく教室(未就園児の親子を対象)』では、園での子ども達のトイレトレーニングを利用者に見学してもらい、資料、サンプルを使用して丁寧に説明しています。利用者から『布おむつってめんどくさい!って思っていましたが"やってみよう"と思い立ってやってみると、すごい!すごい!こどもが"チー"と言ってトイレでおしっこしました!』との喜びの声も多く、家庭での実践につなげています。

当初より布おむつの取り組みに率先して関わって来られた保育士さんのコメントです。

「保育士にとっておむつ交換は、赤ちゃんとのコニュニケーションの場です。赤ちゃんはおむつが汚れていたり、ぬれたりすると気持ちが悪いので泣いて知らせてくれます。すると保育者は、ちょっとしたしぐさや表情に気づくことが増え、また言葉をかけることにより、赤ちゃんが喜んだり、お話をしてくれます。そして繰り返し関わっていく中で、次第に健康状態・排尿・排便の間隔もわかるようになります。このようにして、保育士と赤ちゃんの間で信頼関係を築くことが出来る為、トイレトレーニングがスムーズに進みます。赤ちゃんにとって、清潔で、快適に過ごせる環境の中、排泄の自立を促す上で布おむつは、とても大切です。」







#### 2-7 課題と展望

働く保護者にとって負担に思う人が多い布おむつですが、子どもにとって一番いいことは何かという信念に基づき、根気よく丁寧に活動、啓発を行っている好事例だと思います。

現代における子育で環境(大人の生活環境)の多様化は、子どもの育ちに大きく影響しています。またそれに伴い、子育でに関する悩み、不安感もますます多様になってきています。園での育児相談において、保育者が保護者に対して助言しても、保育への信頼がなければなかなか受け入れられません。信頼を得るには、日々保育実践を見てもらうだけでなく、子どもの育ちにとってその活動がどのような意味を持っているのかと丁寧に説明することが求められてきています。

当園における2つの事例は、園での具体的な保育実践を通じて、地域の子育て家庭から安心感と信頼感を得る、利用者に寄り添った試みです。今後もますます保育園に求められている支援を見極め、地域に子育て支援の輪が広がるよう活動を継続されることを期待致します。



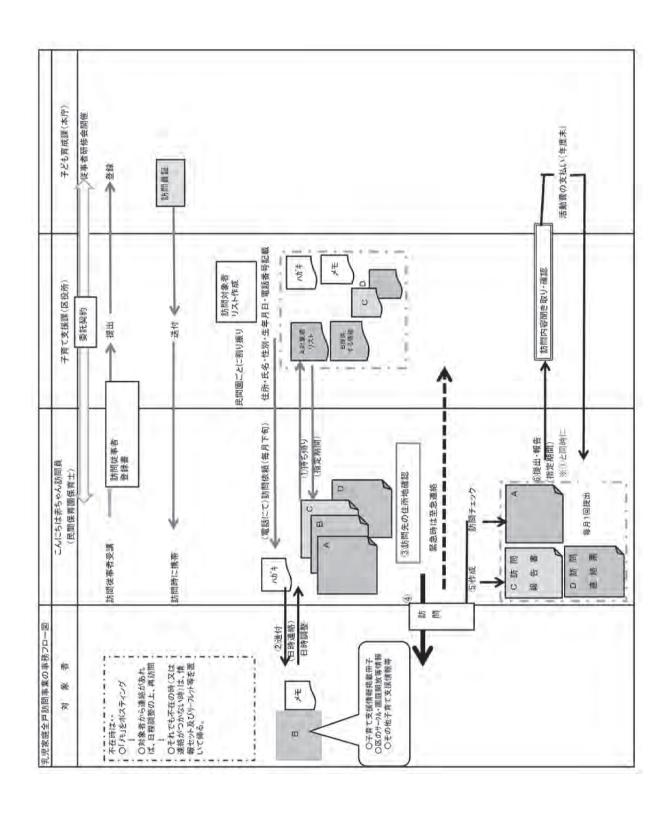












	布おむつのススメ
どうして? 今時、布おむつ?	今は、昔と違い便利な紙おむつがあります。布おむつなんて紙おむつが出来る前の話なんて思ったり・・・・。それは違います!布おむつは、こどもにとってとてもいいんです!
デメリット	<ul><li>◎汚れると泣くのは昼夜を問わず、紙おむつに比べるとモレの頻度も高め</li><li>◎洗濯や後始末といった点も考えると・・・とにかく、手間が掛かかる。</li></ul>
メリット	<ul> <li></li></ul>
でもちょっと面倒?	とはいっても、働きながら家でもするのは大変・・・・。と言われる方も多いです。お家では無理でも、保育園に来ている間は、保護者の方々に代わり保育士が布おむつを替えます。保育園で過ごす時間が長い赤ちゃんにとって保育園で替える布オムツは、赤ちゃんにとってはメリットだらけです!
保育園での使用について	<ul> <li>1 『オムツ』は、1人1人バケツを準備します。</li> <li>2 汚物を洗い流し、酸性水で除菌してお返しいたしますので下洗いのお手間は取らせません。</li> <li>3 1歳を過ぎたあたりからトイレトレーニングを始めます。</li> </ul>
ご家庭では	☆お家では、時と場合により、使い分けて頂くといいと思います。夜やお出かけする時は、紙おむつの方が便利です。お休みの日等時間がある時は、布オムツで頑張ってみたり、ライフスタイルに合わせて無理なくされるとストレスなく、しかもこどもと向き合えます。(´`)

☆布おしめってどうすればい	いいの?
購入について	どれを買えばよいかわからない方は、槇塚台保育園でも購入できます。
おむつカバー (日本製)	透湿(ムレを少なくします)・消臭機能があります。
布おむつ (日本製)	仕立て上がりで吸水性・通気性に優れたやわらかな肌触りのトビー織生地です。 肌に直接あたるので、素材は、綿 100%のものがいいです。
トレーニングパンツ	防水シートを中に挟んだ3層構造、又は4層構造で肌に優しく、漏れを防ぎます。
保育園での後始末	失敗しても、除菌水で浸し、下洗いしてお返ししますので、お家に帰ったら他のお洗濯物と一緒にお洗濯していた だけます。

## 3 実践事例2

保育園と他の種別の施設(老人・障がい・児童福祉)との連携事例

## 吹田市

吹田市は大阪府の北摂地域に位置し、南は大阪市、西は豊中市、北は箕面市、東は茨木市および摂津市に隣接しています。面積は約36km。人口は約35万です。市内には5つの大学・研究機関、先端医療施設(大阪大学、関西大学、国立民族学博物館、国立循環器センター他)など文化・学術・研究環境が充実しています。また万博記念公園内の太陽の塔と、ガンバ大阪のホームタウンであることでも知られています。

## 保育の状況

保育所数45 (0) 定員5,052人 (+25) 利用数5,457人 (+170) 待機児童251人 (+72) (カッコ内は全て前年比。平成25年10月1日現在 大阪府統計より)





## 施設概要

施設名 千里山やまて学園

所在地 大阪府吹田市山手町2丁目17番22号

定 員 120名

#### 歴史及び概要

戦後まもない昭和26年、定員60名で保育園を開園。昭和30年、社会福祉法人の認可を受ける。 以後定員を150名まで増員、日祝保育、一時保育など保育ニーズにいち早く対応。平成7年よ り園庭開放等地域の子育て支援活動にも早くから取組み、平成14年より地域子育て支援センターを独自に実施している。

## はじめに

子育て支援の活動では、担当者は子ども、育児以外のさまざまな地域住民の生活課題の相談に直面しています。今後ますます必要とされる適切な関係機関や団体へのつなぎを行うために、地域の福祉ニーズをキャッチする「アンテナ」として機能を期待されるスマイルサポーター等保育士の活動の基盤作りとして、施設種別を超えた連携を推進してきた保育園の実践を紹介いたします。

## 3-1 施設連絡会と地区福祉委員会との協働

平成17年5月、吹田市社会福祉協議会において、地域福祉委員会との協働、連携を視野に入れた地域貢献事業の創造などを目的とし、種別を超えた施設連絡会(高齢・障がい・児童・医療・NPO・株式会社など)を設立。活動として交流会や、会員施設と地区福祉委員会が一緒に参加する講演会、「福祉ボランティア入門講座」「バスを借りて会員施設相互の見学会」「保育園での給食試食会」などを行っています。また施設のスペースや専門性を活かせるよう、平成22年「地区福祉委員会への協力一覧表」を作成し、地区福祉委員会に配布しています。また地域からの要望などは、CSWが調整しています。

※施設連絡会 会員数81 (高齢38 障がい13 児童29 救護1)

(法人格 社会福祉法人64 医療4 NPO5 株式会社7 有限会社1)

「実践!ひとを支えるまちづくり」 平成24年 大阪府社会福祉協議会発行より抜粋 ※地区福祉委員会 33地区福祉委員会 (おおむね小学校区に1つ) で組織され、地域のさまざまな団体(自治会、高齢クラブ等) や民生・児童委員、ボランティアなどで構成され、在宅福祉の見守り、援助等小地域ネットワーク活動を行っている。

#### 3-2 地区福祉委員会との連携のきっかけ

施設連絡会にて出前保育で雨天時の場所の確保に困っていると相談したところ、地区福祉委員の方よりその地域にある特養のホールを利用させてもらうことになりました。

そのことで地区福祉委員会とも顔と名前がわかる関係ができました。地区福祉委員会が子育 てサロンを立ち上げる際には、地区にある3つの保育園に年間2回ずつの保育士派遣を依頼さ れ、残りの6回を地区福祉委員会で行うことになりました。そういう発想も、お互いを知って いるからこそできたことだと思います。

地区福祉委員の立場としては、「施設のPRに使われるんじゃないか」「公立施設と関わるべ

きであって、民間の施設と関わるべきではないのでは」という懸念を当初持っておられたよう です。でも実際に交流がすすむとそういう誤解は解けていったとのことです。

# 3-3 千里山やまて学園の子育て支援活動

#### ①親子教室 クラブベアーズ

毎年4月に市報で募集した0歳児グループと1、2歳児グループが家庭ではできない遊びや 季節ごとの行事や親子遊び等毎月1回年間を通して開催しています。

#### ②園庭開放

月曜日から金曜日の午前10時から午後5時まで、同年代の園児達とのふれあいや子育て相談 などを行います。

# ③青空保育室 なかよし広場あそぼうKAI

近隣の片山体育館で毎月1回午前10時30分から午前11時15分の間で行っている子育て支援。 毎回山手地区福祉委員会よりボランティアスタッフ3名が参加しています。

また地区福祉委員会の子育てサロンに保育士がお手伝いに行きます。

#### ④出前親子教室(サークル支援)

吹田市内の保育園や児童施設がない地域で、2・3組以上の親子グループで、開催場所(マ ンションの集会室等)があれば保育士が出向いていきます。春日地区では、毎月第4月曜日に 特別養護老人ホーム「ちくりんの里」さんの施設ホールにて出前親子教室を開催しています。



①親子教室 クラブベアーズ



②園庭開放



③青空保育室



④出前保育教室

# 3-4 スマイルサポーター(連携従事者)の活動における感想

- ●違う業種の専門職の人と知り合えて良かった。
- ●懇談会では、施設間でお互いに「困っていること」「手助けできること」に気づいたりする 機会になっている。
  - ※例 園の広報誌は従来園の掲示板に貼るしかなかったが、地区福祉だよりに掲載してもら うことになった。
- ●福祉避難所の計画策定時等、連携しやすく心強い。
- ●学校との連携において、児童・生徒の職業体験受入施設として教育機関と懇談会を持つことができた。
- ●次は何をしようかなと、出前保育の企画を考えたり、新たな人との出会いが楽しみ。

#### 3-5 課題と展望

各施設が積極的に取り組めば取り組むほど、どうしても活動員の知識不足、単独施設での支援の限界等が見えてきます。今後は継続的な事業連携を活かして、各施設毎の業務内容のさらなる理解と、支援事例毎にキーパーソンを特定することで迅速で適切な支援につなげること等、活動の更なるスキルアップが望まれます。

施設連絡会では、23年度から毎年東日本大震災の被災地にボランティアバスを運行。施設職員等毎回30名程の参加者があり、単独の施設では難しい取組みを実現しました。制度の狭間にある地域の福祉ニーズに対しセーフティーネットとしての役割を担い、また社会福祉法人が積極的に「公共性」を地域に伝えていく活動として、種別を超えた施設間の連携は今後ますます重要となるでしょう。

#### 3-6 スマイルサポーターの園での活動事例

#### 父親用 育児ハンドブックの作製・配布

園では、創立60周年に合わせ、記念誌を発行する代わりに、父親の育児参加につなげるため「母子手帳」ならぬ「父子手帳」の役割を果たす育児ハンドブック「パパマスター(達人)」を作製したいと企画しました。スマイルサポーターが長年の経験と情熱で、他の保育士と保護者の仲立ちをすることで、地域全体の父親の育児参加を側面から支援する取組として形になった例です。

#### 内容

お母さんの妊娠期に始まり、誕生して学童期までの間に子どもの身体や心が成長していく過程などを、各年齢毎の特徴が簡潔にまとめられてあり、保育士の手書きイラストや関西弁で解

説を加え、ユーモラスな内容となっています。「噛んだりたたいたりは、とても悲しい気持ちになるねんで」「散髪してあげたら、切り過ぎてめちゃ変な髪形になった」といった先輩パパの体験談も添えられています。

※A5版 26ページで初版4千部を作製し、同園や市内の公立保育園、保健センター、産婦人科等に配布。



子どもが産まれてから自立へ向かうまでの子どもの姿 を見ていただきましたが、これはほんの一部です。

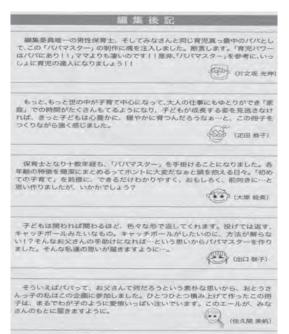
日々、子どもといっしょにいると、もっともっとおも しるいことや不思議なことがいっぱいです。その過程を 楽しんでください。

パパの力があれば、子どもの笑顔がどんどん増えます。 そして子どもの笑顔が増えれば家庭は、明るくなります。 家庭が明るくなれば世の中も明るくなります。すべては、 パパの力が発信源になるのです。

パワフルに、時にはスリルを味わいながら、人生最大 のロマンを楽しんでください。

最後に「パパマスター」の作成にあたり保護者のみなさまにもご協力いただきました。特に編集長として、厳しくも愛情をもって、いちから冊子作りを指導してくださった加藤秀樹さんとすばらしいセンスとデザインで編集まとめをしてくださった久米智子さん、そしてアンケートに協力いただいたやまて学園のパパたちに、心よりお礼申し上げます。

みんなでひとつのものを作り上げることができたこと に感謝しつつ、子どもたちの笑顔と笑い声が永遠に続き ますことを心から祈っています。



	R以南ブロック	61		<b>片山・岸部フロック</b>	ブロック		豊津・江吸・南吹田 ノ	Bブロック		千里山・佐井寺ブロック	ブロック		山田・千里丘ブロック	こプロック		ニュータウンブロッ	ブロック
施設種類	施寶	難隔・無阻フンかん	施設種類	旋舞	人·他	施設階頭	構新	大-衛	施設模類	遊響	小维	施設種類	遊廳	小	施設種類	4 4 5 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	水-物
恒		認知症ケアについての学習会への講所派遣	施		管理关賽士·機能訓練指導員 講師派遣	安華			40年		介護相談	編	使用可能な部屋あり(広村勝)	どのようなことでも相談可	いつの年前	土、日曜日8時~22時、平 日18時~22時まで	地区の子事等の参加 作業税 法士・理学療法士による介護調 政権員派遣
福旭	10人までの小さな部屋可		編		介護・リハビリ等の講師派達	鎾鰋	会議室、ホールが利用可		編	使用可能な部屋は複数 あり 前日20日までに連絡を	介護指導などの職員派遣	細	使用可能な部屋あり(応 相談)		ō <del>R</del> fa	<b>広相談</b>	子者でサロンに瞬員派遣 滋具や用具の貸出
(庫が4.7		中途障がい者や高次脳 機能障がい者への支援 について隣員派遣	編版	日曜日16時から18時まで 使用の2週間前に連絡菱	介護予防数室冬実施	梅馬	华日午前	子育でサロンに職員派遣	編	行事等で使用していない 時は使用可	管理栄養士・作業療法士・ 介護福祉士の派遣	医医	木曜日10時から11時ま で可		離かんい	<b>応相談</b>	精神障がい支援について戦員派 進
姓	使用可能な部屋は複数 あり 時間帯、内容など応相談	子青 たサロンについた観点の派遣 由代間交派 乗の派遣 由代間交派 実務への協力	雏	使用可能な部屋あり 使用1か月前に連絡要	高齢者支援について講師派遣	蝴		子育でサロンへの大型絵 本や用具の貸出	編	空いていればいつでも可能	機能則轉を行う購員深進	循	月曜日~木曜日机10. いす40 テレビ、プロジェ クターなどの設備あり		編	定導的な使用は難しいが 利用目的により会場が空い ているときは使用可能	子育でサロンに職員派遣、管理 栄養士、看護師などの講師派選
障がいい		等がい、福祉の学習会及び 講師派遣 ミュージックセ ラビーの講師派遣	職が払い		難員の派遣可	温極	月曜日~金曜日10時~17 時金蘭室使用可		姓	小さい部屋可太さい部屋 については応相談	子育てサロンに戦員源遣	恒	土曜日午前中、日曜日 は一日可	高齢者支援について職員派遣	框	会議室12人 9時30分~ 11時30分、4時~17時ま で	高齢者支援について職員派遣
ながらい	14時から使用可能な部屋あり	精神障がい者支援について講師派遣・バザーな どのイベントへの協力 結設内見学受け入れ	を表がし、	平日の夜・及び土日	締怨見学受け入れ 栄養土等 の職員派遣	極がい	日時により応相談	社会福祉士、精神保健福祉士職等保健福祉工職員済進、備品の貸 し出いや地域の行事にも協力	障がい	〈すの木物様交流センター(参加)日の新国の国 舎(教養2部属、定無料質 出。」か月前から予約 司。		编	19時30分以降可	高齢者支援について職員派遣	編	月~土曜日 18時~21 時まで 日曜日9時~21 時	高齢者支援について職員派遣 管理栄養士の職員派遣
陣がし、		地区行事への職員派遣	维加	複数部屋あり、内容により ら相談	介護指導。介護教室など職員 派遣	極	日曜日、祝日のみ可	高船者支援について(転倒 予防体操を行う)職員の派 這	無		子育て支援について融資派遣	平	土曜日使用可(9時~17 時末で)	子香でサロンコ語真派語	死		子育たサロンについて職員派遣 大型総本、雑芝居運動用具等の貸田等
<b>1</b> 100		高齢者支援について職 員派遣	釜		野外活動のリーダー派達。 青少年リーダー養成	編	月・火曜日(祝日以外)工 曜日(第20名)10時~14 時まで15人程度利用可 時間につき100円(水道光 熱費)年末年始は林館					施	平日13時~15時(土曜日 七司)	子育でサロンに略真派遣	账		子等でサロンに職員派遣、運動 用具、紙芝居給本など貸出
神		子音でサロンについて職員派遣	誓	1か月前の月初めより申込み受付地域交流スペース	コミュニケーションスキルアッ・ブ、が現技術、制度説明等の 一致を会へ歌員参加	順かない		中途降がい者の理解について講師派達				様がい		中海解がここ の職員派遣 くの職員派遣	その街	使用可能な部屋あり(応相談)	行事の際のボランティア参加
庫がい。現		子育でサロンについて職員派遣	底	土曜日の10時から16時ま	子育でサロンへの職員の派遣業 施 絵本や様芝居の貸し出し 地域の高齢者と保育圏乳幼児と の交流	理がない	平日の夜間帯(応相談)	精神障がい者の理解につ いて講師派達				既	月·木·土曜日使用可 時間帯委相談	子育でサロンに購買旅遊	雁	使用可能な都是あり(日 時等応相談)	高齢者支援について講師旅遣
編		高齢者支援について(機 批訓練等)に職員派遣	年	土曜日の9時から14時ま	海光原語にプロセン資本	灰	類様により応律談	家災管額コベロ42単去				障がい	月~金曜日 16時以降 使用可 (応相幾)	学養士源遣	遍		正英質量を全てコニよる機具派型
呼がい	平日は18時以降、土日なら日中も使用可能な部屋 あり	知的障がい者支援について講師派遣	既		子育ハナロン「職員派遣							班	土曜日 9時~17時まで 使用可(ただし行事の時 は除ぐ)	子育でナロンに職員派遣 頃、おもちゃ、続本等の原出	(権力SL·1	収茶スペースを含むため、喫茶メニューの注文 火曜日~土曜日 9時~ 17時	精神障がいについて講師派遣
			命	曜日、時間帯で異なる								麻榧	月・水曜日13時~17時まで可	子育でサロンに職員派遣			
			循	日曜日終日利用可能な 部屋あり、駐車場を外で のイベントにも利用可													
			編	土曜日・日曜日(17時~19時まで)													